



【一般公開講演会】

『世界無形文化遺産の意義と現状について』

～元ユネスコ事務局長、松浦晃一郎特任教授による講演～

名古屋学院大学では、6月24日(土)14時00分～16時00分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館4階クラインホールにて、一般公開講演会『世界無形文化遺産の意義と現状について』を実施します。当日は、第8代ユネスコ事務局長を務め、現在は本学特任教授の松浦 晃一郎による講演の他、本学国際文化学部長で教授の木村 光伸による報告『東海地域に息づく世界無形文化遺産—山車の文化について—』、本学国際文化学部生による活動報告を予定しています。一般の方も入場無料・事前予約不要でご参加いただけます。

【講演の内容】

松浦晃一郎特任教授(2016年度本学就任、第8代ユネスコ事務局長)は、ユネスコ在任中、とくに世界遺産(文化遺産、自然遺産)の登録・保全に積極的に取り組み、世界無形文化遺産条約の成立に注力しました。現在、それらが日本の世界遺産登録にも大きなインパクトを与え、次々と登録の実を結びつつあります。今回の講演では、世界無形文化遺産の意義と現状について、遺産条約の精神を基に、日本の取り組みの実態をふまえた内容を予定しています。世界中を震撼させている紛争や難民問題により破壊され、また、消滅の危機にある世界遺産も少なくありません。文化を守ることは世界平和の第一歩です。松浦特任教授の話とともに、本学の取り組みや名古屋を拠点に展開している国連活動などの紹介も併せて、有意義な時間を持ちたいと考えています。

【当日スケジュール】

- 14:00-14:05 開会あいさつ 小林 甲一 名古屋学院大学学長
- 14:05-14:10 講演者および講演会の趣旨紹介
- 14:10-14:50 講演『世界無形文化遺産の意義と現状について』
＜講演者＞ 松浦 晃一郎 名古屋学院大学特任教授
- 14:50-15:00 質疑応答等
- 15:00-15:10 休憩
- 15:10-15:25 報告『東海地域に息づく世界無形文化遺産—山車の文化について—』
＜報告者＞ 木村 光伸 名古屋学院大学国際文化学部長・教授
- 15:25-15:50 名古屋学院大学国際文化学部学生による活動報告・海外の無形文化遺産紹介
- 15:50-16:00 質疑応答、松浦 晃一郎 名古屋学院大学特任教授による講評
プログラム終了

【一般公開講演会】世界無形文化遺産の意義と現状について

- 開催日時：2017年6月24日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)
- 開催場所：名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎翼館4階
クラインホール (〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)
※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約8分 駐車場はありません
- 定員：200名程度 (入場無料・事前予約不要)
- 講演者：松浦 晃一郎 名古屋学院大学特任教授